P3FY-1980-01

SCSI アレイコントローラカード GP5-148
ファームウェアアップデート手順書

GP5-148 Firmware Version 6.00-13

2001 年 11 月 富士通株式会社

目　次

1. 本書の概要 3
2. 対象カードとファームウェア版数 3
2.1 対象カード 3
2.2 アップデート対象版数および作業後版数 3
3. 部材確認 3
3.1 手順書・フロッピィディスク 3
3.2 MS-DOS 起動媒体 3
4. 作業を行う前に 4
4.1 対象カードとファームウェア版数の確認 4
4.2 RAS 支援サービスの起動監視機能設定について 4
4.3 フロッピィディスクドライブのクリーニング 4
4.4 ハードディスクの状態確認 4
4.5 サーバ本体の電源オフおよび再起動確認 4
5. 作業手順 5
5.1 MS-DOS 起動手順 5
5.2 ファームウェアアップデート手順 5
6. 作業後の確認項目 6
6.1 ファームウェア版数確認 6
6.2 OS の起動確認 6
7. 付録１　メッセージリスト 6
8. 付録２　フロッピィディスクドライブのクリーニング 7

1. 本書の概要

本書は、SCSI アレイコントローラカード（以降、アレイカード）の BIOS／ファームウェアのアップグレード作業について記載しています。

2. 対象カードとファームウェア版数

2.1 対象カード

表 2-1 に本作業の対象アレイカードを示します。

表 2-1 作業対象アレイカード

代表型名	代表型名のカードと同一カードの他型名
GP5-148	GP5B148, GP5B1U481, GP5B1U483, GP5B1U484, GP5B1U485, GP5B1U489

2.2 アップデート対象版数および作業後版数

アップデート対象の BIOS／ファームウェア（F/W）版数と、本作業実施後の BIOS／ファームウェア（F/W）版数を表 2-2 に示します。

表 2-2 アップデート対象および作業後の版数

代表型名 (ベンダ型名)	対象版数		作業後版数	
GP5-148 (AcceleRAID 352)	Firmware BIOS BootBlock EzAssist	6.00-51 6.00-17 6.00-00 2.01-05	Firmware BIOS BootBlock EzAssist	6.00-13 6.01-20 6.00-03 2.03-17

3. 部材確認

3.1 手順書・フロッピィディスク

□ 手順書
「GP5-148 ファームウェアアップデート手順書」（本書）× 1

□ フロッピーディスク
「GP5-148 Firmware Update Disk V6.00-13」× 1

3.2 MS-DOS 起動媒体

□ MS-DOS 起動媒体
サーバ本体添付の以下の媒体を用意してください。
✧ CD-ROM「Server Wizard」

4. 作業を行う前に

作業を行う前に、以下の項目を必ず確認／実施してください。

4.1 対象カードとファームウェア版数の確認

サーバ本体起動時（OS 起動前の POST 時）に出力される下記表示の下線部にファームウェアバージョンが表示されますので、表 2-2 の作業対象ファームウェア版数と一致するかどうか確認してください。

AcceleRAID 352 Firmware Version 6.00-51

4.2 RAS 支援サービスの起動監視機能設定について

RAS 支援サービスがインストールされている場合、かつ、起動監視を行っている場合、MS-DOS 起動中（ファームウェア改版中も含む）に意図しない電源切断や再起動が実行される場合があります。本作業を行う前に、RAS 支援サービスの起動監視機能設定をすべて「監視しない」に設定し、本作業が完了してから元の設定に戻してください。

RAS 支援サービス、および、起動監視機能設定についての詳細はサーバ本体添付の取扱説明書を参照してください。

4.3 フロッピィディスクドライブのクリーニング

フロッピィディスクドライブは、長い間使用していると、ヘッド（データを読み書きする部品）が汚れてきます。ヘッドが汚れるとフロッピィディスクに記録したデータを正常に読み書きできなくなりますので、巻末の「8. 付録 2　フロッピィディスクドライブのクリーニング」を参照し、フロッピィディスクドライブのクリーニングを行ってください。

4.4 ハードディスクの状態確認

GAM または EzAssist により、アレイカード配下のハードディスクの状態が全て「Online」または「Hot Spare」であることを確認してください。万一、その他の状態のハードディスクが存在した場合には、ハードディスク交換／リビルド等の保守作業を実施した後で本作業を実施してください。

- **GAM**
  Controller View により、「Physical Drives」「Logical Drives」で表示されているステータスが「On Line（緑色の四角）」または「Hot Spare（白の十字）」であることを確認してください。
- **EzAssist**
  Perform Administration on . . . メニューより、「Logical Drive」「Physical Device」を確認し、ステータス表示が「Online」または「Spare」であることを確認してください。

4.5 サーバ本体の電源オフおよび再起動確認

本作業を実施する前に、サーバ本体のシャットダウン、電源オフ、再起動を実施し、本作業実施前のサーバ本体が正常に起動することを確認してください。24 時間稼動のサーバや、長時間未使用のサーバに対して本作業を実施する場合に特に必要です。

5. 作業手順

作業手順は以下の通りです。作業を始めるにあたり「4. 作業を行う前に」の各項目について確認が完了している必要がありますので、念のため再確認してください。

5.1 MS-DOS 起動手順

ServerWizard CD-ROM を使用して MS-DOS を起動してください。

(1) サーバ本体添付の Server Wizard CD-ROM を、CD-ROM ドライブにセットし、サーバ本体の電源を落としてください。（電源を落とす前に正しいシャットダウン処理を行ってください。）
(2) サーバ本体の電源を投入してください。
(3) 「MS-DOS Startup Menu」から、「Basic(BIOS Environment Support Tools)」を選択してください。
(4) MS-DOS プロンプトが表示されたら、「5.2 ファームウェアアップデート手順」へ進んでください。

5.2 ファームウェアアップデート手順

(1) MS-DOS のプロンプト画面が表示されている状態で、EC 部材の FD「GP5-148 Firmware Update Disk V6.00-13」をフロッピーディスクドライブにセットしてください（FD から MS-DOS を起動した場合は FD を入れ換えてください）。
(2) カレントディレクトリを FD ドライブのルートディレクトリ (B:¥) にします。下記のように入力し、[Enter]キーを押してください。

    B: （[Enter]キー入力）

(3) 下記のように入力し、[Enter]キーを押してください。データのアップグレードが開始されます。ファームウェア改版ユーティリティが自動的に作業対象カードを識別し、適当なデータをアレイカードに書き込みます。

    UPDATE （[Enter]キー入力）

(4) ファームウェアの改版が正常に完了すると、以下のように表示されますので、確認してください。

    Complete.

(5) 表示を確認したら、サーバ本体の電源を落とし、フロッピーディスクドライブ、CD-ROM ドライブから媒体を取り出してください。

(6) 以上でファームウェアアップデートは終了です。

6. 作業後の確認項目

ファームウェア改版後の確認項目は、以下の通りです。

6.1 ファームウェア版数確認

サーバ本体起動時（OS 起動前の POST 時）に出力される下記表示の下線部を参照し、表 2-2 の作業対象アレイカードが作業後のファームウェア版数（V6.00-13）になっていることを確認してください。

AcceleRAID 352 Firmware Version <u>6.00-13</u>

6.2 OS の起動確認

ネットワーク OS（Windows 2000、Windows NT、NetWare 等）が正常に起動することを確認してください。

7. 付録 1　メッセージリスト

ファームウェア改版ユーティリティが出力するメッセージは以下の通りです。

- Complete.
  ファームウェア改版が正常終了したことを示します。

  - Reading file . . .
    フロッピィディスクからイメージデータを読み込んでいます。

  - Now upgrading ->(file 名) . . .
    イメージデータをアレイカード上に転送しています。

  - Now flashing the image . . .
    アレイカード上に転送されたイメージデータでモジュールを書き換えます。

- Abnormal Ended.
  ファームウェア改版が異常終了したことを示します。このメッセージの前に出力されているメッセージを参照し、適切な対処を行ってください。

  - Dead Drive detected.
    DED 状態の HDD が検出されたことを示します。この場合、HDD 交換、リビルド等の保守作業終了後にファームウェア改版作業を実施してください。

  - Background task detected.
    バックグランド処理が進行中であることを示します。この場合、処理が完了した後にファームウェア改版作業を実施してください。

- EMM386: Unrecoverable privileged operation error #00 - press ENTER to reboot
  MS-DOS 起動時に EMM386 が組み込まれていることを示します。正しい手順で MS-DOS を起動し、作業を行ってください。

8. 付録２　フロッピィディスクドライブのクリーニング

フロッピィディスクドライブのクリーニング方法を以下に示します。本作業を行う場合でも、「4.2 RAS 支援サービスの起動監視機能設定について」を参照し、作業中に意図しない電源断などが生じないよう対処をしてください。

(1) 電源を投入し、ServerWizard CD をセットします。
(2) 「1.ServerWizard」を選択し、[Enter]キーを押してください。ServerWizard が起動します。
(3) ServerWizard が起動したら、そのまま ServerWizard を終了してください。MS-DOS プロンプトが表示されます。
(4) 以下のコマンドを入力し、**clndsk** を実行してください。

D:¥>clndsk　1　（[Enter]キー入力）

(5) 以下のメッセージが表示されたら、フロッピィディスクドライブにクリーニングフロッピィディスクをセットして[Enter]キーを押してください。

＊ ヘッドクリーニング 第 1.00 版 ＊
クリーニングディスクをドライブ 1 にセットして Enter キーを押してください。

(6) ヘッドクリーニングが始まり、「クリーニング中です　あと XXX 秒」と表示されます。
(7) 「ヘッドクリーニングが終了しました。」とメッセージが表示されたら終了です。フロッピィディスクアクセス表示ランプが消えていることを確認して、クリーニングフロッピィディスクを取り出してください。

以上